

「本来、公費で負担すべきものがあつた」と認め、 寄付の受け入れ基準を策定……市教育委員会

市教育委員会は3日の市議会文教経済委員協議会の場で、「05年度にPTAや学校後援会から学校に寄せられた寄付の中に、**本来公費で負担すべきものが130万円あまりあつた**」と報告しました。

これは昨年の議会で、日本共産党議員団の橋爪議員が調査を求めていたものです。調査結果を公表するにあたり、市教委は、**学校施設整備、備品購入などについて寄付を受け入れられるもの、受け入れできないものを区別した**「学校への寄付受け入れ基準」を策定しましたが、今回はそれに基づいて公表しました。

協議会の中で橋爪議員は、「**県内では学校への寄付をめぐって各地で問題となっている。教育費の負担も多く、こうした調査結果を公表した意義は大きい。勇氣ある調査結果の公表だと評価したい**」と述べたうえで、**学校関係者への基準の徹底、05年分の寄付のうち、公費で負担すべきものとしたものの扱いについて検討するよう求めました。これにたいして東條教育部長は、「寄付が妥当かどうか受け入れる側である学校の対応が大事になる。まず学校に徹底する。(05年度の)寄付のうち、今回の基準で受け入れられない扱いとなるものはどうするか、内部で検討したい」と答えました。**

大島、柿崎区でも市議会報告

日本共産党議員団は、これまでもそれぞれの議員や事務局長の選出区で議会報告を行ってきましたが、最近では、そうした地域以外にも出かけ、報告をしています。

先週は大島区、柿崎区で初の議会報告をしました。いずれも会場がある地域に合わせたテーマで報告してきました。聴衆のほとんどは、**日本共産党議員の話聴くのが初めてです。「日本共産党とか、赤旗という名前は印象がよくない。変えた方が票が入るのではないか」「共産党は権力によって差別されることがある。もっと宣伝した方がいい」**など、地域の要求よりも日本共産党そのものに対する質問や意見が次々と出されました。



大島区旭地区で議会報告する橋爪議員

上野こうえつ市議団事務局長のホームページである「上野公悦 活動日記」が話題となっています。

同事務局長はこのところ、市内各地へ出かけて活動していますが、市民の皆さんからいろんな要望が寄せられています。日記には、そうした要望がどんなところで寄せられているのかなどが書かれています。例えば医療費をめぐる要望については、「**労災病院の近くで街頭宣伝をしていましたら、病院帰りだという二人の人が熱心に話を聞いてくれて対話になりました。『医療費が高くて何とかして欲しい』とのこと。医療費の高騰に年金が追いつかない、病院に行くお金もなくなって取り返しのつかない容態になったという例を挙げながら、医療制度改悪を自民・公明や民主が強行したということ**を説明して……」といったふうです。

「上野公悦 活動日記」が好評

日記には、各地の人たちの暮らしの様子も出てきます。
「**柿崎区の水野という集落は米山のふもと登山道入り口。ここは雪が深く道が曲がりくねって道の下は深い谷ですので、道路には工夫がしてあります。凍らないように常に道路いっぱい大量の水が流れるようになっています。雪解けの水や自然の湧き水がたくさん出ていますが、側溝や下水はふさがれていて道路に流れてくるようになっていますし、側溝がないところは道路の両端は盛り上がっていて常に道路内に水があふれんばかりに川のように流れています。これも生活の知恵**とはいえ雪が深くて暮らしは大変だろうなと思います。」
ぜひ読んでみてください。

日本共産党上野議員ニュース

81	2007年2月18日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)